

イオン交換デバイス

陰イオン分析用 サプレッサ

ES-A1

特徴

- ・陰イオンの安定かつ高感度な分析を実現
- ・試料の脱塩も可能
- ・電流コントローラ（別売）の併用により、既存のHPLCやIC装置に取り付け可能
- ・初めてご使用になる方には、取り付けや使用法についてご説明させていただきます。



原理と用途

ES-A1は、デバイスに供給された溶液中の陽イオン（ナトリウムイオンやカリウムイオンなど）を水素イオンに変換します。

電気伝導度検出器による陰イオン検出時には、溶離液を中和することで溶離液の伝導度を下げ、結果的にノイズを低減します。また、陰イオンの対イオンを電気伝導度の高い水素イオンに変換することで、高感度分析が可能です。

HPLCやMSの前に接続し、サンプルまたは移動相の脱塩（陽イオンのみ）にも使用できます。



仕様

用途	<ul style="list-style-type: none"> ・陰イオン分析時の炭酸系溶離液または水酸化物系溶離液の電気伝導度減少によるノイズ低減 ・陰イオン成分の高感度分析 ・ナトリウムやカリウムなどの陽イオンの除去
対応流量	0.5~2.0 mL/min（ただし圧力が0.4 MPaを超えないこと）
耐圧	0.4 MPa
制御	電流制御（電流/電圧コントローラ EX-11をご使用ください）
サイズ、重さ	118 (W) x 45.5 (D) x 26 (H) mm, 260 g

株式会社ケミテス

〒532-0002 大阪市淀川区東三国2-11-30-603

TEL:06-7860-1960

<https://www.chemites.co.jp/>